

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【公開番号】特開2007-41578(P2007-41578A)

【公開日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-006

【出願番号】特願2006-184184(P2006-184184)

【国際特許分類】

G 02 F 1/133 (2006.01)

G 09 G 3/36 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

G 09 F 9/30 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/133 5 7 5

G 09 G 3/36

G 09 G 3/20 6 4 2 K

G 09 G 3/20 6 2 1 K

G 09 G 3/20 6 4 1 G

G 09 G 3/20 6 6 0 P

G 09 F 9/30 3 9 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月15日(2009.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】表示装置及び電子機器

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の画素を有し、

前記複数の画素のそれぞれには各色要素を構成する副画素を有し、

前記副画素は複数の表示領域を一組とし、前記一組には面積の異なる複数の表示領域が含まれ、前記副画素はストライプに配置され、

第1の状態と第2の状態とで前記副画素を構成する表示領域の組み合わせが異なり、前記副画素を構成する表示領域の総面積が等しいことを特徴とする表示装置。

【請求項2】

第1の表示領域と第2の表示領域と第3の表示領域とを有し、

前記第1の表示領域と前記第2の表示領域と前記第3の表示領域とは、同じ色要素が表示され、

第1の状態において、画素は、前記第1の表示領域と前記第2の表示領域と有しており、

第2の状態において、前記画素は、前記第2の表示領域と前記第3の表示領域と有して

おり、

前記第1の表示領域の面積と前記第3の表示領域の面積とは、同じであることを特徴とする表示装置。

【請求項3】

請求項1又は2において、

前記画素は、前記画素を前記第1の状態または前記第2の状態のいずれかを表示させるかによって、階調を表現することを特徴とする表示装置。

【請求項4】

画素部に複数の画素を有し、

前記複数の画素のそれぞれには各色要素を構成する副画素を有し、

前記副画素は、複数の表示領域を有し、

前記複数の表示領域には、複数種の面積の矩形型の表示領域が含まれ、

前記副画素毎に前記複数の表示領域がストライプに配置され、

前記複数の表示領域のうち最大の面積の表示領域は、ストライプ方向と直交する方向の一辺が、隣り合う列の最小の面積の表示領域の一辺とそろい、ストライプ方向と直交する方向の他辺が、隣り合う列の最大の面積の表示領域の他辺とぞれで配置されていることを特徴とする表示装置。

【請求項5】

請求項4において、

前記副画素の前記複数の表示領域は、最小の面積の表示領域の 2^n (n は1以上の整数)倍の面積の表示領域が含まれていることを特徴とする表示装置。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか一において、

前記色要素は、赤色、緑色、青色の色要素からなることを特徴とする表示装置。

【請求項7】

請求項1乃至5のいずれか一において、

前記色要素は、赤色、緑色、青色、白色の色要素からなることを特徴とする表示装置。

【請求項8】

請求項1乃至7のいずれか一において、

前記画素は液晶素子とトランジスタとを有することを特徴とする表示装置。

【請求項9】

請求項1乃至7のいずれか一において、

前記画素は発光素子とトランジスタとを有することを特徴とする表示装置。

【請求項10】

請求項1、及び請求項4乃至9のいずれか一において、

前記副画素に含まれる前記表示領域のいずれかを表示させるかによって階調を表現することを特徴とする表示装置。

【請求項11】

請求項1、及び請求項4乃至10のいずれか一において、

前記副画素に含まれる前記表示領域を表示させる時間によって階調を表現することを特徴とする表示装置。

【請求項12】

請求項1乃至11のいずれか一項に記載の表示装置を搭載した電子機器。